



緊急地震速報衛星配信サービス『SafetyBird』

新たなソフトウェアの導入で、より手軽に

スカパーJSAT 株式会社(本社:東京都港区、代表取締役 執行役員社長:高田 真治、以下スカパーJSAT)は、通信衛星を利用した緊急地震速報衛星配信サービス『SafetyBird』サービスの受信システム用の新たなソフトウェアを導入しましたので、お知らせいたします。

『SafetyBird』サービスとは、気象庁から得た緊急地震速報や津波情報を、通信衛星を用いて配信するサービスです。衛星通信の特長である耐災害性、広域性、同報性を生かし、地震等により地上回線が寸断した場合や公衆回線が輻輳(ふくそう)した場合でも安定した通信回線を確保し、被災地であっても確実に情報を受信できます。ご利用いただく際には、アンテナと受信設備を設置するだけで、サービスを受けることが可能です。2006年より開始した『SafetyBird』サービスは、インフラ関連企業をはじめ、生産施設・倉庫業態など幅広い分野で多数導入頂いております。

今回、『SafetyBird』サービスの受信システムに、新たなソフトウェアを導入することで、受信システムをより簡便に構築することが可能となりました。このソフトウェア化により、ハードも汎用品を利用することができ、コストの低減も実現します。

また、今回新たに、津波情報を地図上で表示することを可能にし、従来の文字のみの情報から、視覚的に見やすく進化しました。これにより、一層簡便なシステム化が実現し、これまでとは異なる新しい分野の企業の皆様にもご利用いただけることを期待して、今後も販路を拡大していく予定です。

なお、すでに『SafetyBird』サービスをご利用いただいている場合には、新ソフトウェアの導入を実施せず、今まで同様のサービス提供を継続いたします。

スカパーJSATは、今後も通信サービスの持つ特徴を最大限に活かし、皆様の安心・安全に貢献できるようサービスの改善に取り組んで参ります。

以上

『SafetyBird』 新ソフトウェア詳細

■新たなソフトウェアの特徴

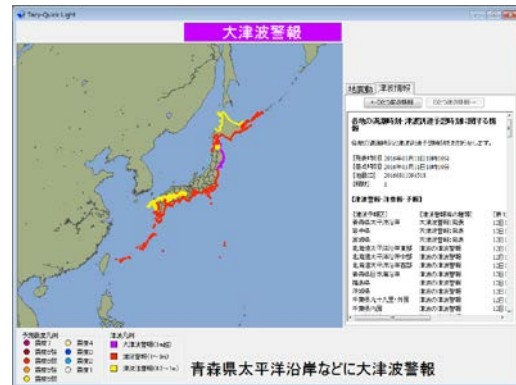
- ① 最大 16 の接点について、それぞれ独立に設定した条件による接点出力が可能
- ② 最大 4 つのクライアントに対して、地震・津波の画面表示が可能
- ③ 最大 50 の宛先に対して、地震・津波情報や機器のステータス情報などをメールで通知可能
- ④ ステータス表示や条件設定は Web ブラウザ上で実施可能。リモートアクセスも可能

■新たなソフトウェアの表示例

緊急地震速報



津波関連情報



緊急地震速報・津波関連情報



■新たなソフトウェアによるサービス構成図

